P

特許協力条約

PCT

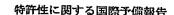
特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

REC'D 12 MAY 2005
WIPO PCT

(法第12条、法施行規則第56条) 【PCT36条及びPCT規則70】

								
出願人又は代理人 の書類記号 PCT-1857	今後の手続きにつ	いては、様式PCT/)	PEA/41	6を参照するこ	٤.			
国際出願番号 PCT/JP2004/004865	国際出願日 (日.月.年) 02	. 04. 2004	優先日 (日.月.年)	08. 04.	2003			
国際特許分類(I P C)Int.Cl. ⁷ H02K15/04								
出願人(氏名又は名称) 富士重工業株式会社								
1. この報告 啓は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条(PCT36 条)の規定に従い送付する。								
2. この国際予備審査報告は、この表紙を	≥含めて全部で	3 ページ	からなる。					
	3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a. 「 附属書類は全部で ページである。							
「 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範 囲及び/又は図面の用紙(PCT規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)								
「 第 I 欄 4 . 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙								
b. 「 電子媒体は全部で	•		1657 h	## #### #				
配列表に関する補充欄に示す。	ように、コンピュー		 よる配列表又	媒体の種類、数 は配列表に関連	を ボす り。 車するテー			
ブルを含む。(実施細則第 802	2号参照)							
4. この国際予備審査報告は、次の内容を	含む。	•	· ·					
▶ 第 Ⅰ 概 国際予備審査報	性の基礎							
「 第 I 欄 優 先権								
								
▼ 第V棚 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付								
けるための文献及び説明 「 第VI欄 ある種の引用文献								
「 第Ⅲ個 国際出願の不備								
第四欄 国際出願に対す	る意見	7.						
FIRE P. //thrite-to-co-city-betty-ti-sty-orn v. b.		I						
国際予備審査の請求費を受理した日 02.04.2004		国際予備審査報告を作 18.04	成した日 4. 2005					
名称及びあて先		特許庁審査官(権限 <i>の</i>)ある職員)	зv	9324			
日本国特許庁(IPEA/JP)	米山 毅	-	L					
郵便番号100-8915								
東京都千代田区設が関三丁目4番3号 電話番号 03-3581-1101 内線 3358								

第Ⅰ概	報告の基礎		
1	many and the state of the ball	-A 1 34P 3	
	D国際予備審査報告は、下配に示す		
	この報告は、 語	による翻訳文を	基礎とした。
	それは、次の目的で提出された翻	訳文の言語であ) 5 .
ŗ	PCT規則12.3及び23.1(b)に PCT規則12.4にいう国際公	いう国際嗣査	<i>y</i> ~
<u> </u>			
•	•		
2. この)報告は下配の出願書類を基礎とし	した。(法第6条	k (PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され
た定省人	え用紙は、この報告において「出願	(時) とし、この)報告に添付していない。)
V	出願時の国際出願事類		
_			
Į,	明細書	*	
	第	ペーシ、	出願時に提出されたもの
	第	ペーン*、 ページ*	出願時に提出されたもの 、
		^	、 付けで国際予備番食棳関か気埋したもの
j	請求の範囲	_	·
	第	項、	出願時に提出されたもの 、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
	第	垻*、 項*	、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
	郑		、付けで国際予備審査機関が受理したもの 、付けで国際予備審査機関が受理したもの
<u> </u>			・111リ「四欧『畑田』「阪田州"又生したりい
Г	図面		
4	第	_ ページ/図、	出願時に提出されたもの
	郑	ベーン/図*、	、 付けで国際予備案を機関が受理したもの
	第	_ ページ/図*、	、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
F	配列表又は関連するテーブル		
/	配列表に関する補充棚を参照	ほすること。	•
ļ		•	·
3. <u>Г</u>	補正により、下記の書類が削除さ	れた。	
1	第二二 開求の範囲 第二二		ページ 項 ページ/図
	図面 第		
	配列表(具体的に記載するこ	:と)	•
1	□ 配列表に関連するテーブル(「ること)
4 [この知失け 始本郷に示したよう	- この知告に	
±.,	えてされたものと認められるので	に、この _{牧日に} ・ その補正がさ	に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超いなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))
	•		
	「 明細書 第 <u> 第 </u>		ページ
i			
!	配列表(具体的に記載するこ		
1			ること)
* 4. E	一該当する場合、その用紙に "supe	rseded″と記入	、されることがある。



国際出願番号 PCT/JP2004/004865

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第 12 条(PCT35 条(2))に定める見解、 それを取付ける文献及び説明					
1. 見解					
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲		<u>`</u> 有 無		
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲		有 無		
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-6	有 無		

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1:JP 7-163100 A (セイコーエプソン株式会社)

1995.06.23,図3,4,(ファミリーなし)

文献2: JP 52-103602 A (株式会社日立製作所)

1977.08.31,第10図, (ファミリーなし)

請求の範囲1-6は、新規性及び進歩性を有する。

請求の範囲1-6は、提示された何れの文献にも記載も示唆もされておらず、かつ、 これらの記載から自明であるとも認められない。

また、請求の範囲1-6が産業上の利用可能性を有することは明らかである。